

No.474
2023年
6月5日
(月)

つくしんぼ

6月号
(水無月)
文責：瀧口



～入梅～



年々梅雨入りが早くなり、びっくりしています。その分、ジメジメした日々が早く終わるといいですね。お待ちかねのプールでの学習が始まります！マスクの着用が自由になり、指導もしやすくなりました。この3年間で、「マスクによることばの発達への影響」があったのではないかと感じることはありません。正しい音を聞き取れていないということは、正しい発音への妨げとなります。発音が気になるお子さんがおられましたら、大きく口を動かすこと、舌を思うように動かせること、呼気圧（息を出す力）を高めることを意識した声かけをしてください。発音の基礎となります。

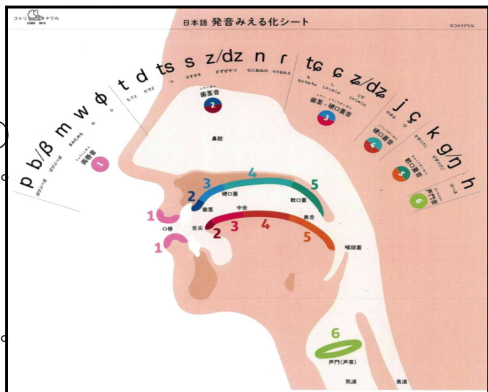
マスク生活とことば つくしんぼ460号より

毎日マスクを着けるようになって、もう2年が過ぎようとしています。体だけでなく、ことばの発達に影響があるかもしれないと心配されています。

- 影響①・・・表情が見えづらい**
表情から感情を読み取る経験が乏しくなるかも。
- 影響②・・・遮られて声が小さくなる**
聞き取りづらい環境で正しい発音を聞き取ることができづらいかも。
- 影響③・・・口周りの筋肉が弱る**
マスクのせいで口をしっかりと動かさず、口呼吸になっているかも。
→口呼吸は、成長にいろいろな悪影響があります。
- 影響④・・・口の動きが見えない**
難聴や発音がゆっくりなお子さんは口の形が見えずに困っているかも。

マスクが取れるご家庭やオンラインでは、顔と口を見せて、しっかりおしゃべりを楽しんでくださいね。

発音のメカニズムと指導



肺から上がってきた呼気が声帯を振動させ、咽頭（のどの入り口の辺り）や口腔内（口の上側と舌の間の空間）を共鳴させて、私たちは発声します。しかし、発声する時に、口の形を意識したり、舌の位置を考えながら発音していません。発音した音をしっかりと聞いて、自分自身で調整しながら発音しているのです。誰かに舌の位置を教えられたわけでもなく、自然に音の作り方を身につけているなんて、人間ってすごいですよね。ですから、正しい音を聴くことが重要なのです。指導で見ていることが4つあります。

口の周りの動き

唇がしっかり開いたり、閉じたりできること、噛む、吹く、吸うができることが発音の基礎になります。にらめっこなどで、自由に表情を変えられるようになることも、口の周りの筋肉を鍛えることにつながります。

声

空気を振動させ、相手の鼓膜も振動させることで声は伝わります。のどや胸に手やほおを当て、声を出すと振動しているのを感じさせます。糸電話は、話す、聞くの立場が代わるので、「相手の話を聞く」ということについても、よい遊びです。

舌の機能

母音（あ・い・う・え・お）は、唇と舌で口腔内の形を変えて作ります。唇の開閉や舌がスムーズに動かないとなめらかに話すことができません。チョコのついたお皿を舐めること、ポッキーのチョコをなめ取ることで、舌を前後左右に動かすことが自由にできる柔らかい舌を目指します。

息のコントロール

「発音が不明瞭」とは、だいたい子音が発音されていないということです。正しく発音するためには、口や舌の形をスムーズに変えて、息をタイミングよく出すことが必要です。息の強弱・長短、鼻→口、鼻→鼻、口→鼻、口→口とコントロールできることが基本です。風車、シャボン玉、巻き笛で遊ぶのはそのためです。

いろいろなかえる

吉田 定一

あまがえるくん
こんなかえる
しつてるかい？
そりかえる
はねかえる
ふりかえる
とりかえる
つけかえる
はりかえる
まあ おどろいた
すっかり
あきれかえって
でんぐりかえって
ひつくりかえる
あまがえるくん
まだまだ あるよ
しつてるかい？
きりかえる
いれかえる
かきかえる
のりかえる
いきかえる
よみがえる
まあ おどろいた
あわてて
かけかえって
じしよを ひいて
よく かんがえる